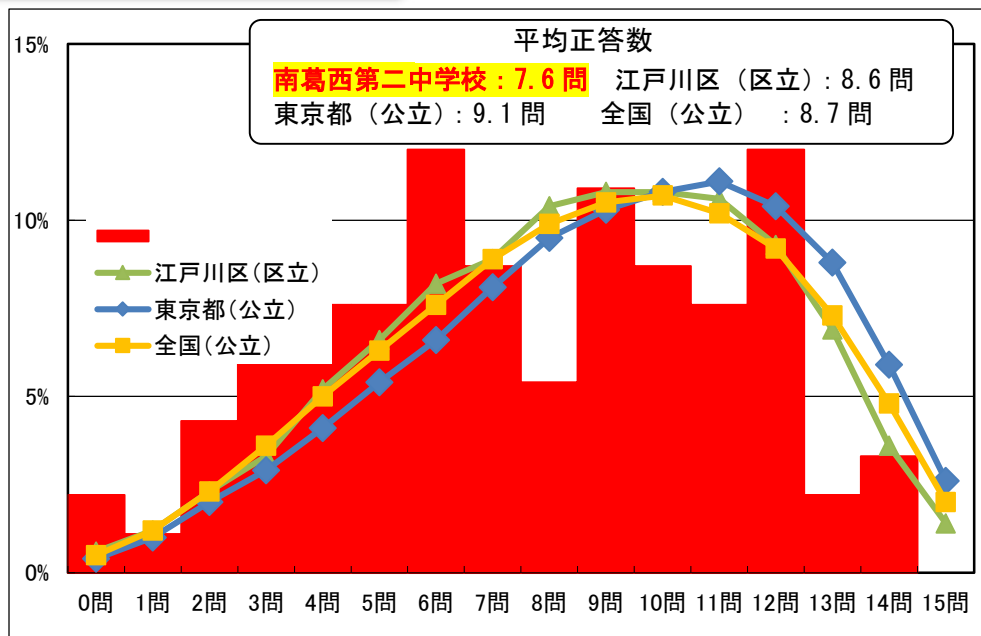
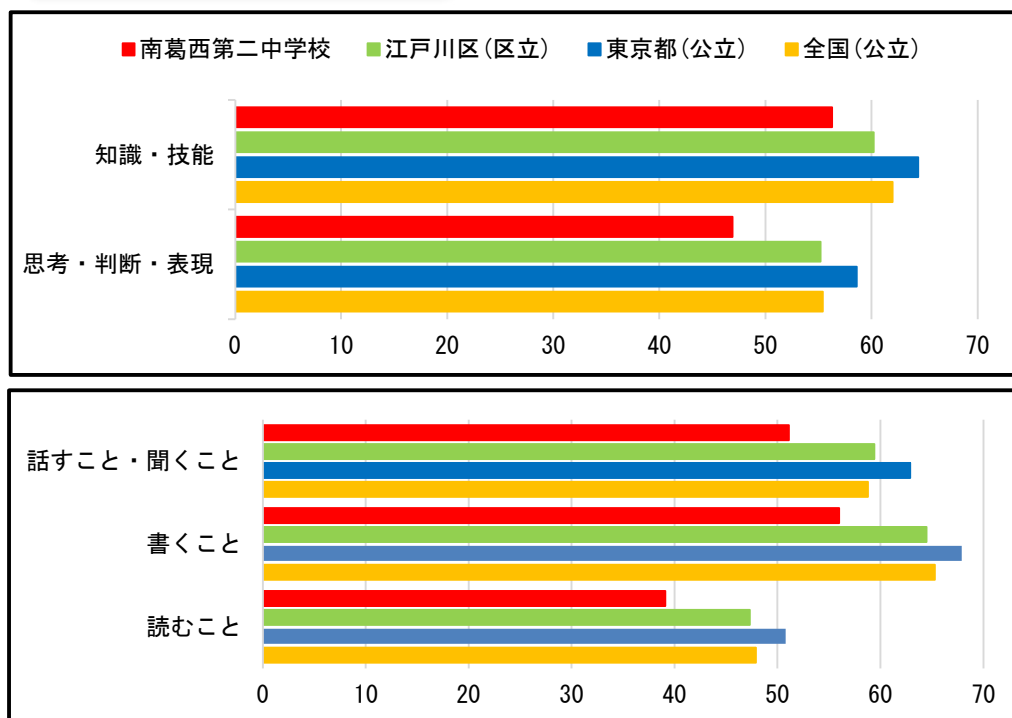


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 南葛西第二中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	← 上位 → 下位			
	A層 12~15問	B層 9~11問	C層 7~8問	D層 0~6問
南葛西第二中学校	5.5	28.3	16.3	49.9
江戸川区(区立)	21.2	32.2	19.3	27.3
東京都(公立)	27.7	32.2	17.6	22.5
全国(公立)	23.3	31.4	18.8	26.5

【平均正答率の差】

南葛西第二中学校	56%
江戸川区(区立)	57%
東京都(公立)	61%
全国(公立)	58.1%
都との差	5ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

領域別の結果から、各観点とも都の平均より10ポイント以上低い。また四分位でA層が著しく少なく、D層が顕著に多い。まずはD層を底上げするべく、習熟度を把握して基礎・基本の徹底を図ることに重点を置く指導を心がける。また「読むこと」と連動させて「書くこと」の指導も同時に進められるように、長文読解に取り組みつつ、自身の考えをアウトプットすることを意識させる授業を開発・展開していく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。